江戸時代

名前

問1　17世紀後半から19世紀にかけての日本の歴史を分類した際、近世に該当する時期には、大阪（上方）や江戸などの都市部を中心に新しい文化が栄えました。この時期に、町人たちが主な担い手となって発展し、浮世絵や人形浄瑠璃などが生み出された文化を何といいますか。（2016年 福岡県公立入試 類似）

1. 文明開化
2. 国風文化
3. 東山文化
4. 町人文化

問2　江戸幕府の第3代将軍が武家諸法度を改定して制度化した、大名が1年ごとに江戸と領地を往復し、その妻や子を人質として江戸に住まわせる仕組みを何といいますか。（2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 禁中並公家諸法度
2. 鎖国令
3. 参勤交代
4. 奉公構

問3　世界の歴史における出来事の発生時期について、10世紀、15世紀、19世紀に起こった出来事の組み合わせとして、すべて正しいものはどれですか。（2022年 青森県公立入試 類似）

1. 10世紀：ローマ帝国の成立 － 15世紀：バスコ・ダ・ガマのインド到達 － 19世紀：アヘン戦争
2. 10世紀：唐の滅亡 － 15世紀：コロンブスの西インド諸島到達 － 19世紀：アヘン戦争
3. 10世紀：唐の滅亡 － 15世紀：マゼランの世界周航 － 19世紀：第一次世界大戦
4. 10世紀：隋の統一 － 15世紀：コロンブスの西インド諸島到達 － 19世紀：ロシア革命

問4　16世紀から17世紀にかけて世界有数の産出量を誇り、当時の世界の銀の約3分の1を日本が占めていたと言われる要因となった鉱山はどれですか。現在の島根県に位置し、2007年にはその歴史的価値から世界遺産（文化遺産）にも登録されています。（2020年 滋賀県公立入試 類似）

1. 石見銀山
2. 別子銅山
3. 生野銀山
4. 佐渡金山

問5　18世紀後半、ロシアの使節ラクスマンが根室に来航して通商を求めた際、江戸幕府がとった対応と、その後の状況について述べた文として正しいものはどれですか。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 幕府は根室での交渉を拒否したが、長崎への入港許可証である「信牌」を渡し、交渉の場を限定した。
2. 幕府はラクスマンの要求を全面的に受け入れ、即座に根室と函館を開港してロシアとの貿易を開始した。
3. 幕府はロシアの要求に驚き、即座に老中の松平定信を根室に派遣して正式な国交を樹立した。
4. 幕府は異国船打払令に基づき、ラクスマンの乗る船を武力で撃退し、一切の交渉に応じなかった。

問6　江戸時代の元禄文化期における絵画や浮世絵の特徴について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。（2021年 宮崎県公立入試 類似）

1. 喜多川歌麿が「見返り美人図」を描き、明治時代に西洋画の技法を取り入れた独自の作品を残しました。
2. 黒田清輝が「見返り美人図」を描き、安土桃山時代を代表する絵師として活躍しました。
3. 菱川師宣が「見返り美人図」などを描き、庶民の生活や風俗を題材にした絵画として広まりました。
4. 狩野永徳が城郭の壁画として「見返り美人図」を描き、武士の威光を示す豪快な画風を確立しました。

問7　親藩の中でも特に格式が高い尾張・紀伊・水戸の三家は「御三家」と呼ばれ、幕府の統治において特別な特権を持っていました。その特権の内容として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 参勤交代を免除され、常に自領で政務を行うことができる権利。
2. 老中などの幕府の最高役職を独占し、政治の実権を握る権利。
3. 将軍の跡継ぎがいない場合に、後継者を出すことができる権利。
4. 長崎での貿易を独占し、その利益をすべて家計に入れる権利。

問8　江戸時代における日本の特産品であるしょうゆの輸出と、その海上航路の背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 広島県公立入試 類似）

1. 幕府がキリスト教の布教を認めていたスペインが、太平洋を横断してメキシコ経由でヨーロッパへ運んだ。
2. 鎖国体制下でも自由貿易が許されていたイギリスが、北極海を通過する最短ルートでヨーロッパへ運んだ。
3. 琉球王国の中継貿易を通じて、中国の商人がインド洋を渡りアフリカ南端を経由してヨーロッパへ運んだ。
4. 長崎の出島で貿易を認められていたオランダが、インド洋を横断しアフリカ南端を回る航路でヨーロッパへ運んだ。

問9　持続可能な社会の実現を目指す上で、「環境保全」「防災・安全」「資源・エネルギー」の各視点は互いに深く関連しています。このうち、資源やエネルギーの有効活用において、廃棄物を単なるゴミとして捨てるのではなく、再び資源として生産工程に取り入れることで環境負荷を減らそうとする社会を何と呼びますか。（2025年 島根県公立入試 類似）

1. 高度経済成長社会
2. 情報化社会
3. 循環型社会
4. 格差社会

問10　元禄時代から江戸時代後半にかけて、日本の農業は技術革新によって生産力が向上しました。この時期に普及した「千歯こき」という農具が、農作業のどの工程において革新をもたらしたか、最も適切な説明を選択してください。（2017年 岡山県公立入試 類似）

1. 硬い土を深く耕して肥料の吸収を良くする工程
2. 刈り取った稲の穂から籾を落とす脱穀の工程
3. 低い場所にある河川から田に水を汲み上げる工程
4. 重さの違いを利用して籾とゴミをより分ける工程

問11　江戸時代初期に行われた朱印船貿易について、幕府が「朱印状」を発行した目的と、この貿易が東南アジア各地に与えた影響を組み合わせた説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 幕府が海外渡航を統制し、船舶の安全を保障するためであり、現地には日本人の自治集落である「日本町」が形成された。
2. キリスト教の布教を全国に広めるためであり、長崎の「出島」に多くの欧米人が移り住んだ。
3. 鎖国体制を早期に確立させるためであり、日本人の海外渡航と帰国が一切禁止された。
4. 明との正式な国交を回復させるためであり、博多や堺の商人が「唐人屋敷」を建設した。

問12　18世紀前半、江戸幕府の8代将軍となった徳川吉宗は、幕府の財政再建と政治の立て直しを目指して「享保の改革」を行いました。この改革において、裁判の迅速化と公正な判断を行うために制定された法令集として正しいものはどれか、次の中から選びなさい。（2017年 和歌山県公立入試 類似）

1. 旗本や御家人の借金を帳消しにする「棄捐令」
2. 裁判の基準となる判例をまとめた「公事方御定書」
3. キリスト教の布教を防ぐために作成された「宗門改帳」
4. 江戸に流入した農民を強制的に村に帰す「人返しの法」

問13　江戸幕府が大名に対して定めた「武家諸法度」は、長期にわたる安定した統治を目指すためのものでした。この法令が制定された主な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 大名同士が自由に同盟を組むことを奨励し、隣国との紛争を自主的に解決させるため
2. キリスト教の布教を全国的に奨励し、南蛮貿易を盛んにすることで幕府の財政を潤すため
3. 農民の武器をすべて没収する「刀狩」を徹底させ、身分制度を完全に固定化するため
4. 大名の軍事力を制限し、無断での城の補修や婚姻を禁じることで、反乱の芽を摘み統制を強めるため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 町人文化	江戸時代の中期（元禄期）から後期（化政期）にかけて、経済力を蓄えた都市部の町人たちが生み出した文化です。上方（大阪・京都）から始まり、やがて政治の中心地である江戸へと広がりました。菱川師宣や葛飾北斎らによる浮世絵、近松門左衛門による人形浄瑠璃など、庶民の生活や感情を反映した芸能・芸術が特徴です。
問2	答え 3 参勤交代	徳川家光は1635年に武家諸法度を改定し、それまで慣習的に行われていた参勤交代を制度として確立しました。大名に多額の経費を支出させることで軍事力を蓄える余裕を奪うとともに、家族を江戸に留めることで謀反を防ぐ仕組みを整えました。
問3	答え 2 10世紀：唐の滅亡 – 15世紀：コロンブスの西インド諸島到達 – 19世紀：アヘン戦争	中国の唐は10世紀初め（907年）に滅亡しました。コロンブスは15世紀末（1492年）にスペインの援助を受けて西インド諸島に到達しました。アヘン戦争は19世紀（1840年）にイギリスと清の間で勃発しました。なお、隋の統一は6世紀末、ローマ帝国の成立は紀元前1世紀、ロシア革命は20世紀（1917年）の出来事であり、時期が異なります。
問4	答え 1 石見銀山	島根県に位置するこの銀山は、戦国時代から江戸時代にかけて大量の銀を産出しました。ここで採用された「灰吹法」という精錬技術によって生産効率が飛躍的に向上し、日本のみならずアジアやヨーロッパの経済にも大きな影響を与えました。同じく幕府の直轄地であった新潟県の佐渡金山（金・銀）や兵庫県の生野銀山と混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 1 幕府は根室での交渉を拒否したが、長崎への入港許可証である「信牌」を渡し、交渉の場を限定した。	幕府は鎖国を理由に根室での交渉を拒否しましたが、ロシアを過度に刺激することを避け、漂流民の受け取りと引き換えに長崎への入港許可証（信牌）を渡して、交渉を希望するなら長崎へ向かうよう伝えました。これを受けてロシア側は一旦引き上げましたが、後の1804年に再びレザノフが長崎へ来航することに繋がります。なお、異国船打払令はこの出来事よりも後の1825年に出されたものです。
問6	答え 3 菱川師宣が「見返り美人図」などを描き、庶民の生活や風俗を題材にした絵画として広まりました。	元禄文化の時期には、菱川師宣によって浮世絵が始まり、「見返り美人図」などの作品を通して庶民の関心を集めました。浮世絵は、当時の庶民の生活や風俗、流行などを題材に描かれた絵画です。
問7	答え 3 将軍の跡継ぎがいない場合に、後継者を出すことができる権利。	御三家は徳川将軍家の血筋を絶やさないための安全装置としての役割を担っていました。実際に、2代将軍秀忠の血統が途絶えた際、紀伊徳川家から8代将軍吉宗が選ばれるなど、幕府の存続において極めて重要な地位を占めていました。なお、老中などの役職に就くのは主に譜代大名の役割でした。
問8	答え 4 長崎の出島で貿易を認められていたオランダが、インド洋を横断しアフリカ南端を回る航路でヨーロッパへ運んだ。	江戸幕府はキリスト教の禁止を徹底するため、ヨーロッパ諸国の中で貿易相手をオランダに限定しました。長崎から輸出されたしょうゆは、東南アジアの拠点であったバタビア（現在のジャカルタ）を経由し、広大なインド洋を横断してアフリカ南端を回るという、当時のオランダが独占的に利用していた海上航路によって世界へと広まりました。
問9	答え 3 循環型社会	環境保全や資源の安定確保を目的として、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、資源を効率的に循環させる社会を「循環型社会」と呼びます。現代では再生可能エネルギーの導入や防災対策と並び、この循環型社会の構築が、将来にわたって安心・安全に暮らせる社会を作るための不可欠な要素として位置づけられています。
問10	答え 2 刈り取った稲の穂から籾を落とす脱穀の工程	千歯こきは「後家倒し（ごけだおし）」という別名を持つほど、脱穀の作業時間を短縮させた画期的な道具です。それまでの手作業に比べて数倍の速さで脱穀ができるようになったため、農業経営の効率化に大きく貢献しました。なお、土を深く耕すのは備中鍬、灌漑（かんがい）に用いるのは踏車、選別を行うのは万石通しであり、それぞれ役割が異なります。
問11	答え 1 幕府が海外渡航を統制し、船舶の安全を保障するためであり、現地には日本人の自治集落である「日本町」が形成された。	将軍が発行する朱印状は、その船舶が幕府の公認であることを示し、海外での海賊行為を防ぐとともに安全な航海を保障する役割がありました。この制度によって多くの大名や商人が東南アジアへ進出した結果、アユタヤ（タイ）などの主要な港町には、移住した日本人が暮らす「日本町」がつくられ、山田長政のように現地の王朝で活躍する人物も現れました。一方、日本人の海外渡航禁止や出島への隔離などは、のちの三代将軍家光の時代に進められた「鎖国」に向けた政策です。
問12	答え 2 裁判の基準となる判例をまとめた「公事方御定書」	徳川吉宗は、それまで担当者の主観に左右されがちだった裁判を、過去の判例に基づいて公平に行うために「公事方御定書」を制定しました。これにより、司法制度の整備が進み、効率的な行政運営が可能となりました。なお、棄捐令は寛政の改革、人返しの法は天保の改革で行われた政策であり、享保の改革の内容とは異なります。
問13	答え 4 大名の軍事力を制限し、無断での城の補修や婚姻を禁じることで、反乱の芽を摘み統制を強めるため	徳川家康が始めた江戸幕府の安定には、有力な大名による反乱を防ぐことが不可欠でした。武家諸法度は、城の増改築を許可制にしたり、大名同士の勝手な結婚を禁じたりすることで、各藩の軍事力拡大を抑制しました。これにより、全国一律の統制が可能となり、長期の平和な時代が築かれました。